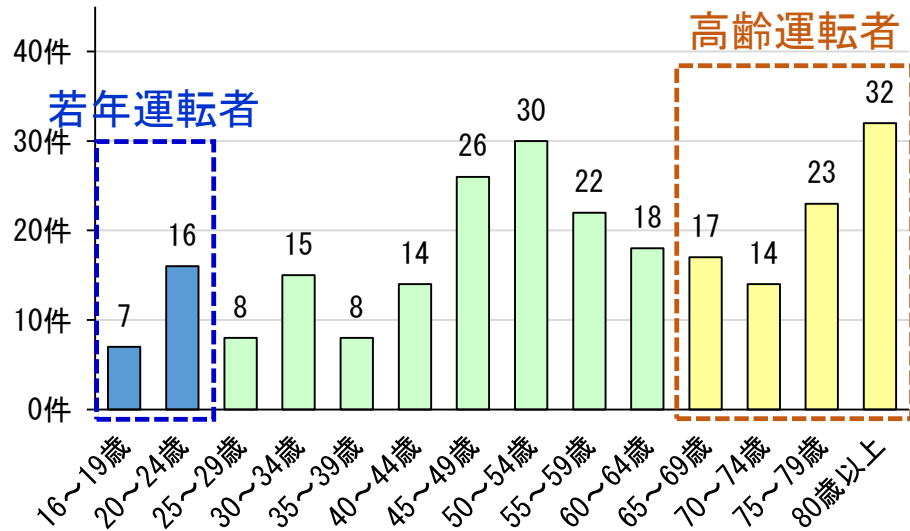


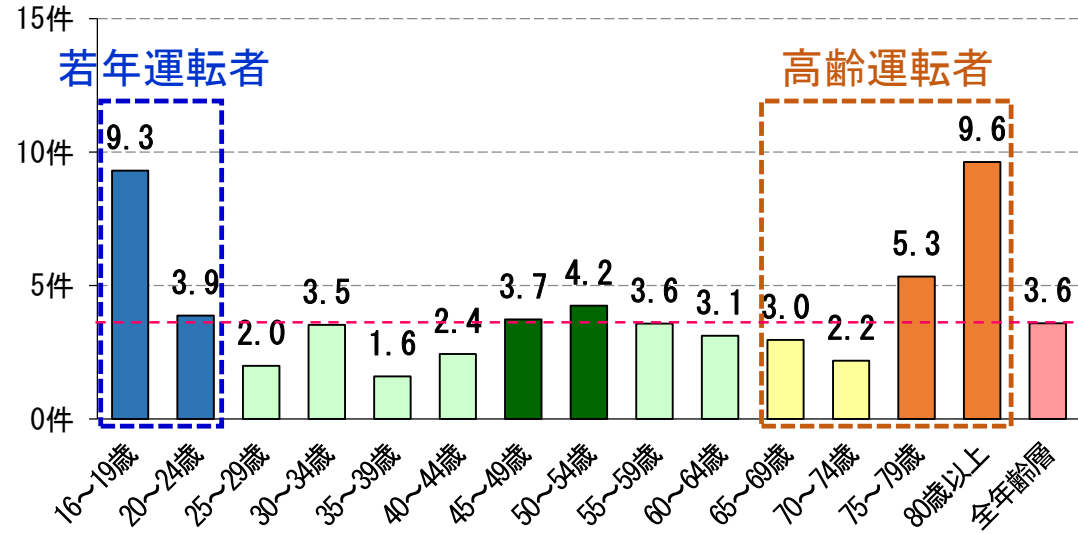
運転者の年齢層別・死亡事故

～ 原付以上運転者（第1当事者）の死亡事故（5年間・R2～R6） ～

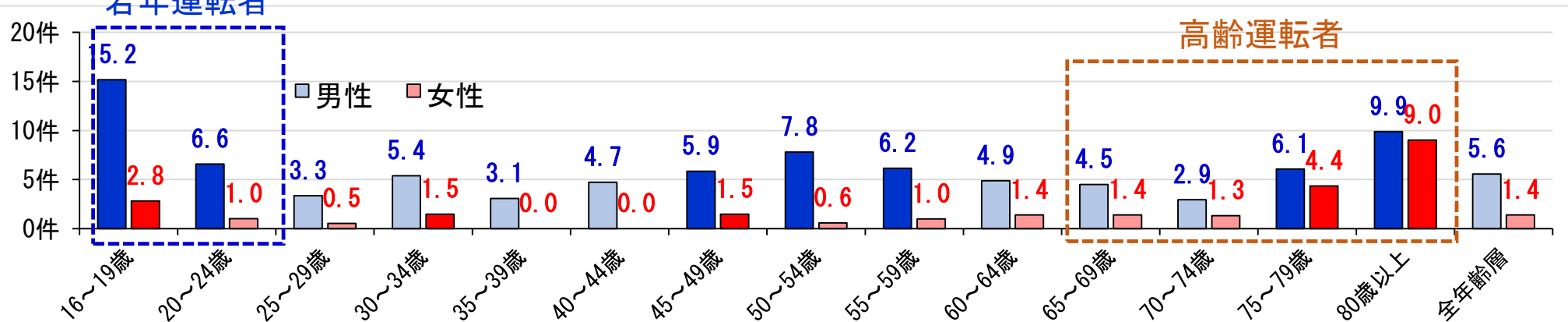
年齢層別・死亡事故件数



年齢層別・運転免許保有者10万人当たりの死亡事故件数



男女別・年齢層別・運転免許保有者10万人当たりの死亡事故件数



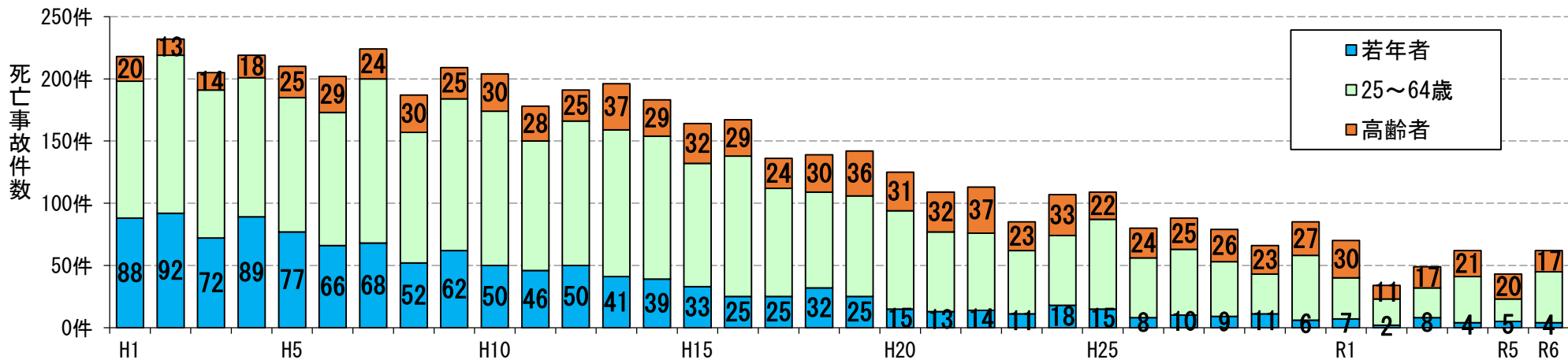
死亡事故を起こした運転者を年齢層別に免許保有者10万人当たりの事故件数を見ると、若年運転者の事故率が高く、特に男性が高い。また、高齢運転者の事故率も高く、特に75歳以上の事故率が高い。

若年・高齢運転者による死亡事故分析

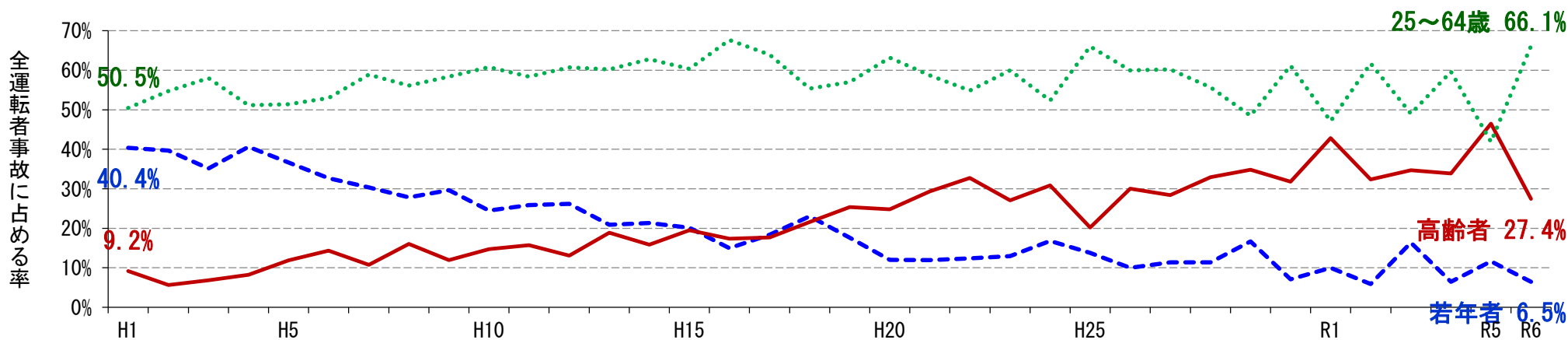
～ 原付以上運転者（第1当事者）の死亡事故（5年間・R2～R6）～

※ 若年：24歳以下 高齢：65歳以上

各運転者事故（第1当事者）の発生状況推移



発生状況推移（全運転者事故に占める率）



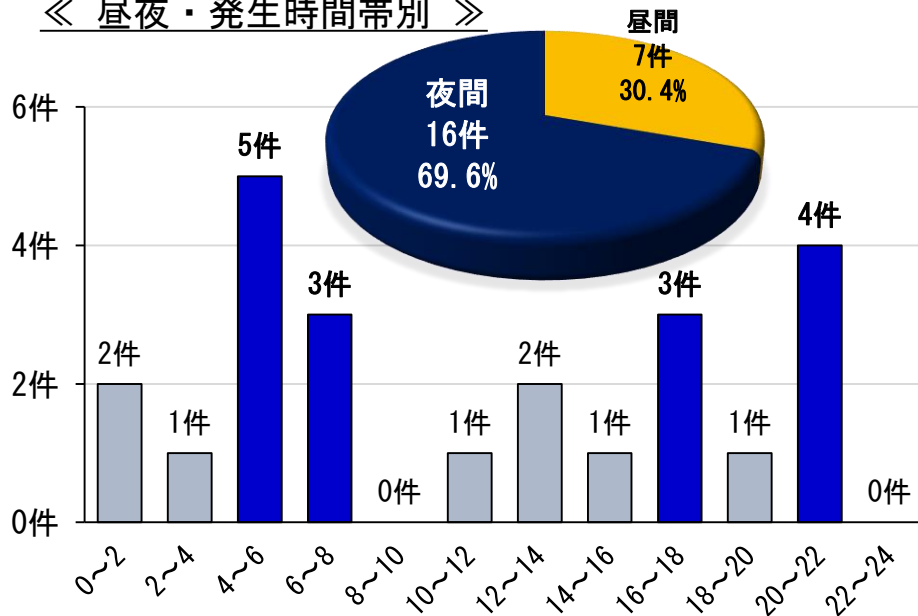
若年（24歳以下）、一般層の運転者による死亡事故は減少傾向にあるが、高齢（65歳以上）運転者による死亡事故はほぼ横ばいで推移している。

また、全運転者事故に占める若年運転者の割合は全体的に減少傾向にある。高齢運転者の割合は増加傾向にあったが、令和6年は27.4%と減少に転じた一方、25～65歳の運転者事故割合が66.1%と大幅に増加した。

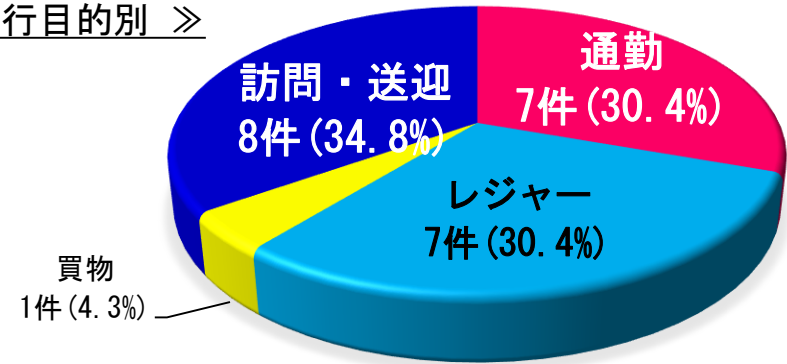
若年（24歳以下）運転者による死亡事故

（5年間・R2～R6）

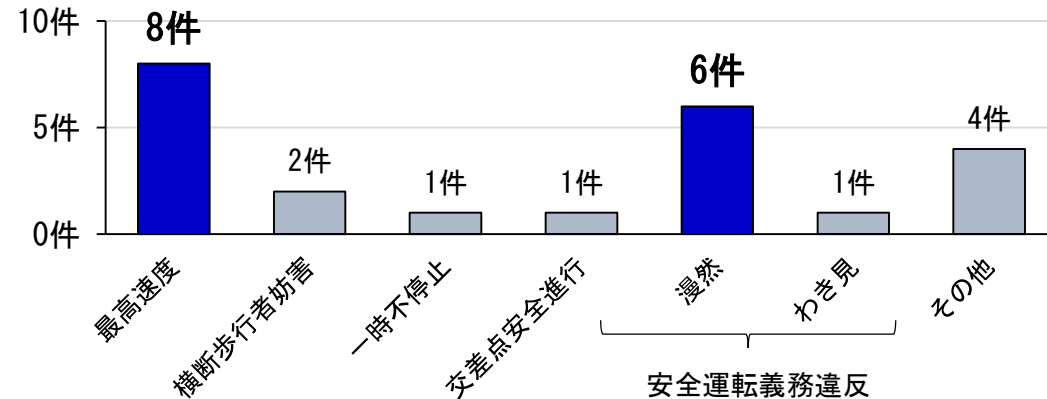
《 昼夜・発生時間帯別 》



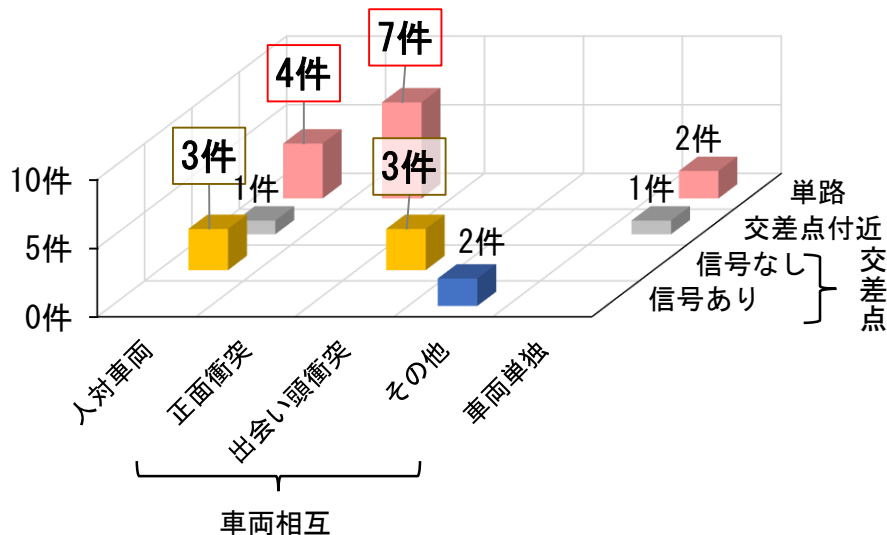
《 通行目的別 》



《 事故原因（違反）別 》



《 道路形状・事故類型別 》



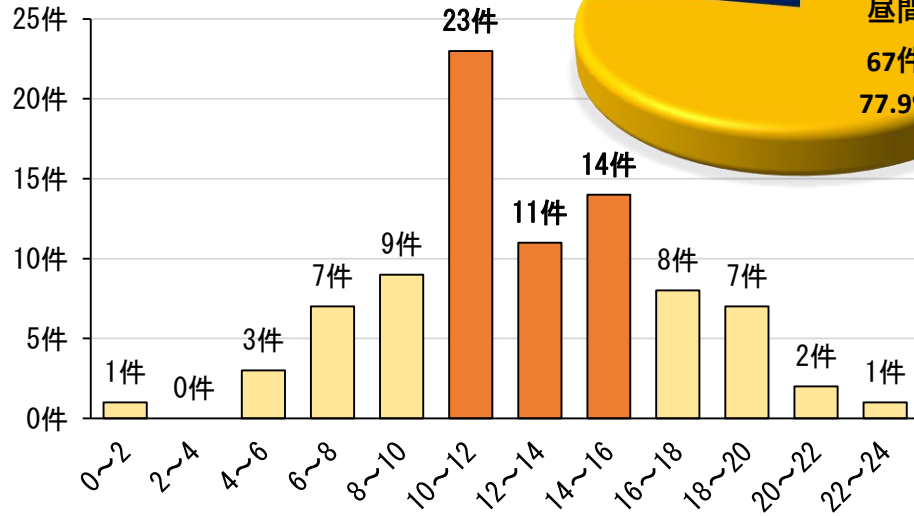
《 若年運転者の特徴 》

- ・ 夜間の発生が約7割と多い
- ・ 信号機の無い交差点での対歩行者事故や出会い頭が多いほか、単路での正面衝突や歩行者との事故が多い。
- ・ 訪問送迎時の事故が最も多く、次いで通勤やレジャー時の事故が多い。
- ・ 速度超過や漫然運転による事故が多い。

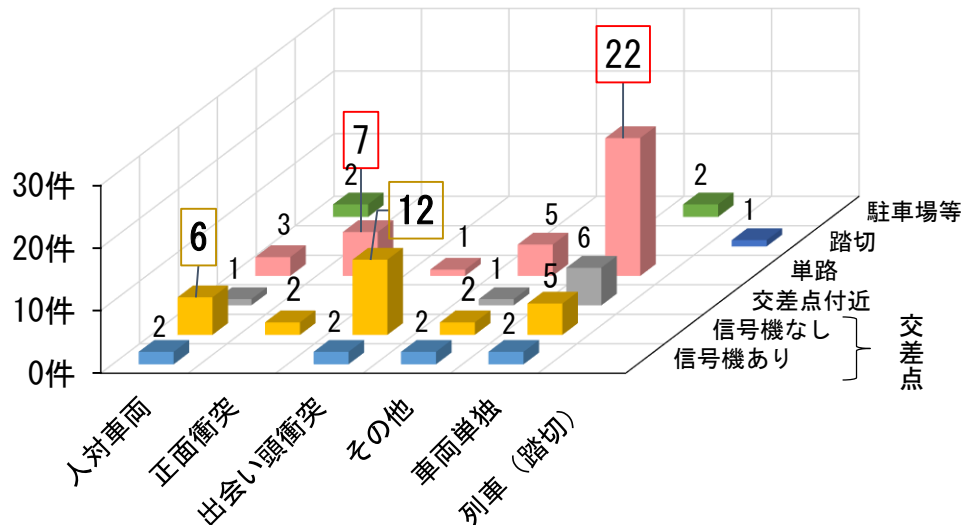
高齢（65歳以上）運転者による死亡事故

（5年間・R2～R6）

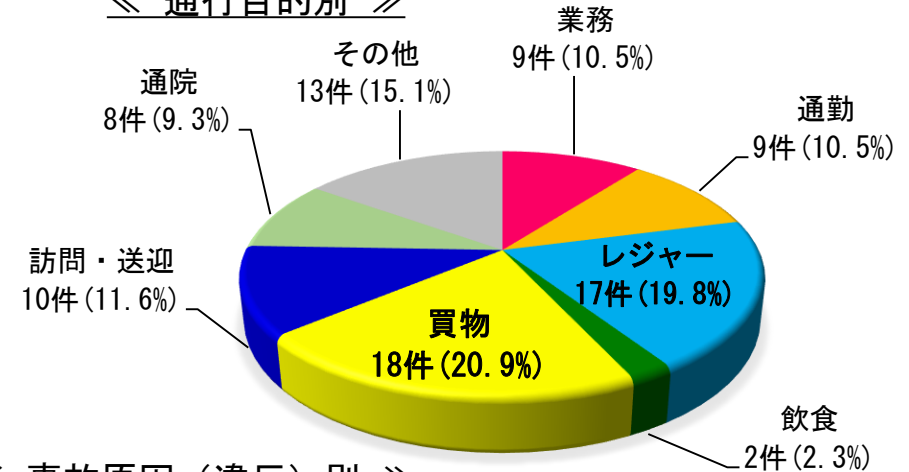
《 昼夜・発生時間帯別 》



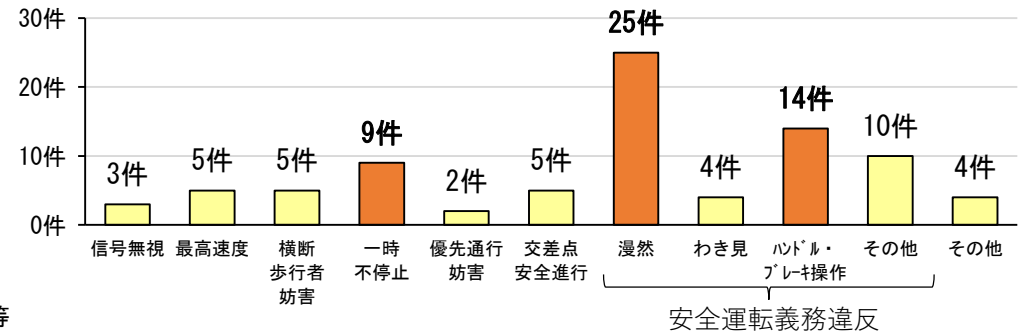
《 路線・事故類型別 》



《 通行目的別 》



《 事故原因（違反）別 》



《 高齢運転者の特徴 》

- ・ 昼間の発生が約8割を占め、10時から16時の発生が多い。
- ・ 単路での単独事故や正面衝突事故が多いほか、信号機の無い交差点での出会い頭や対歩行者事故が多い。
- ・ 漫然運転や操作不適による事故が多い。
- ・ 買い物やレジャー時の事故が多い。